

透析だより



令和6年 能登半島地震 透析の状況 1月4日時点

- ・石川県羽咋市（はくいし）以北の透析施設は全施設透析不可能となっている。
- ・透析不可能は7施設の透析患者様約350名
- ・金沢市を中心とした福井県、富山県など北陸地方へ移送中だが、主要道路の通行止めで搬送に時間を要している
- ・陸路搬送できない重症患者については、ヘリコプターによる搬送実施済み
- ・日本災害時透析医療協働支援チーム（JHAT：ジェihat）が透析の支援活動中



2015年12月に発足した臨床工学技士・看護師による透析専門の支援チーム
2016年4月の熊本地震で、阿蘇温泉病院での支援活動が最初の活動

- ・透析不可施設の再開には1か月程度要する見込み

阿利花病院 透析室 防災ハンドブック 地震編 TEL 096-293-5000

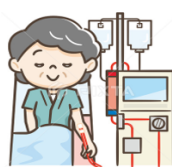


はじめに

今年で熊本地震から7年が経過しました。
透析中に地震がきたらどうしますか？考えてみたことはありますか？
透析治療は電気・水のライフラインに依存した治療です。ライフラインが寸断されたら透析不能になることも想定されます。
今回はこの防災ハンドブックで当院の災害対策や地震が発生した時に皆さんがどのように行動したらよいかなどを説明しています。

いざという場合に備えて、日頃からハンドブックをよく読んでおいてください。

《透析と水》



透析は水・電気がないと治療ができません。

通常 1人あたり 1分間に 500ml の透析液が必要です。

4時間透析の場合 1人 120ℓ

5時間透析なら 150ℓの水が必要です。機械を洗浄するための水も必要です。

災害時ライフラインには限りがある為、通常 1分間に 500ml 使う透析液も災害時には 300ml などに減らす場合もあります。(透析液の流量が減ると、毒素が抜けにくく

覚えていますか？
当院の防災ハンドブック
（地震編）

災害はいつどこで起こる
かわかりません
もう一度見直してみてください

